

## 東京納品代行、成田地区で輸入アパレル物流拠点稼働

Edited By LogisticsToday On 2015/05/14



センコー傘下の東京納品代行は、千葉県富里市で新物流拠点「成田ファッションロジスティクスセンターI」を今月から稼働させた。

東京納品代行はセンコーグループのファッション物流事業の中核として、アパレルメーカーや百貨店などの物流に特化した事業を展開。

成田ファッションロジスティクスセンターIは地上6階建て、延床面積3万6000平方メートルの大型ファッション物流センターで、インポートブランド商品の取り扱い拡大を目指して開設を準備していた。

新センターは既設の「成田センター」に次ぐ成田地区で2か所目の物流センターとして、成田空港から輸入されたインポートブランド商品を中心に、東京納品代行が強みとしているアパレル商品の検品・検針、洗濯タグの取り付け、不良品修理などのQCサービス（品質管理サービス）、商品保管、配送業務を行う。

また、高級ブランド品を取り扱うため、ICカードによる入退館管理や24時間の有人警備など万全のセキュリティ体制も敷いた。

今後、同社は成田地区でインポートブランド商品の物流サービスをさらに拡大・強化するため、2016年4月に新センターの近くで「成田ファッションロジスティクスセンターII」を開設する計画となっている。

### ■施設の概要

名称：成田ファッションロジスティクスセンターI

所在地：千葉県富里市美沢7番2

建物構造：鉄骨造、地上6階建て

敷地面積：1万8800平方メートル（5700坪）

延床面積：3万7400平方メートル（1万1300坪）、うち倉庫面積3万4300平方メートル（1万400坪）

設備：貨物用エレベーター（3.5トン）4基、ドックレベラー1基

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>  
URL to article : <http://www.logi-today.com/162726>  
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.